

cellular line

interphone F3 [インターフォン エフスリー]

価格/3万8800円 (2台セット)

■本体外形サイズ:58 (W)×92 (H)×130 (D)mm

■質量:300g (本体のみ)

●問合せ先:トーヨー産業

☎03-6303-0030

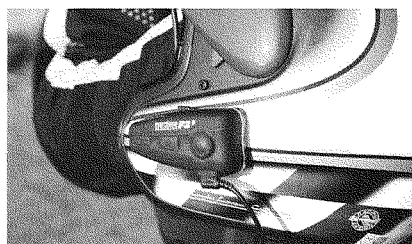
http://www.tysltd.com



ヘルメット用ワイヤレスヘッドセット



本体の取り付けベースは両面テープで張り付けるタイプと、帽体の淵にクランプするタイプの2種類が同梱されている。



スイッチのオン/オフや接続機器の切り替えはマルチファンクションボタンを押して行う。スピーカーから信号音が出るので誤操作もなし。



小型で薄いスピーカーは、ヘルメットの左右のイヤールール内に無理なく収まる。付属のAC電源用アダプターで2台同時に充電できるのが便利。このアダプターは240Vまで対応し、海外ツーリングにも使える。

走行中でも明瞭に会話できる。風の吹き込みが少ないフルフェイスヘルメットに装着すれば高速道路でもまったくとストレスなし。



タンデム仕様の普及価格インターホン登場

BTインターコムも価格破壊の時代?

一度使うと手放せないアイテムの一つがBluetoothウース(以下BTと略)通信のヘッドセット。携帯電話の発着信ができるうえに音楽やナビの音声ガイドも聴け、2台あればインターコムにもなる。バイク用品量販店で聞くと、BTヘッドセットを買う人の3割以上が「タンデム通話用」に2台同時購入すること。BT通信はトランシーバーのように発着信を切り替えて交互に話すのではなく、電話と同じ相互通話で自然に会話できるからだろう。だが2セット購入すると結構な金額になる。そこでタンデム通話専用内部設計を変更し、既存製品の半額近い価格を実現したのがインターフォンF3だ。

上位機種であるF4は条件のいい場所なら500m近い通信距離を誇るが、F3はタンデム専用として出力を下げてあるため確実に通信できるのは10m程度。テストでは20m以上飛んだが、いずれにしろタンデム用なら充分。風切り音カット機能と高音質のスピーカー、ボリウム自動調整機能で通話は実に快適。高速道路でも当たり前前に話ができる。さらにBT対応の携帯電

話またはPNDを接続しておけば、インターカム通話中でもボタンのひと押しで接続先を切り替えて通話したり、音声ガイドを聞くことも可能。これは使ってみるとつくづく便利だ。ソロで使うならPNDの音声ガイドを流しっぱなしにして、携帯電話を使う時に切り替える、という組み合わせがいいだろう。インターコムとしての連続通話時間は8時間と発表されているが、実際のテストでは約10時間使えた。

走行中に会話できる楽しさと安心感は体験すると病みつきになる。タンデムライダーインテグのマスターアイテムだ。

本誌テスターの最終結論



なんととっても安い

既存製品の半額近い低価格。タンデム用として割り切れば間違いなくお買い得。ペアリング済みなで買ってすぐに使えるのも親切だ。



音量の自動調整が効果的

速度に応じて音量を自動調整してくれるし、走行中の風切り音をカットする回路も内蔵。薄型スピーカーの音質もいい。



ヘルメットを選ばない装着性

フルフェイスでもジェットヘルメットでも簡単に装着できる。フリップアップタイプのヘルメットにも装着可能だ。



ステレオに対応して欲しい

A2DPプロファイルを持っていないので、音楽をステレオで聴けないのが残念。でも「タンデムカラオケ」も楽しいかな?